

Fujikura Kasei Group

Sustainability Report

サステナビリティレポート

2025



Contents

Introduction

- [02](#) 理念体系（経営理念と存在意義）
- [03](#) 藤倉化成の概要

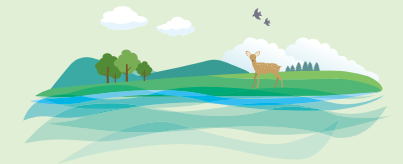
Chapter 1 ビジョンと事業戦略 Vision and Business Strategy

- [05](#) トップメッセージ
- [08](#) 中期経営計画とサステナビリティ
- [10](#) 事業ポートフォリオ戦略：コーティング事業
- [11](#) 事業ポートフォリオ戦略：塗料事業
- [12](#) 事業ポートフォリオ戦略：電子材料事業
- [13](#) 事業ポートフォリオ戦略：化成品事業
- [14](#) 事業ポートフォリオ戦略：合成樹脂事業
- [15](#) 事業ポートフォリオ戦略：生産分野



Chapter 3 成長の基盤強化 Strengthening the foundations for growth

- [30](#) サステナビリティマネジメント
- [31](#) 気候変動への対応（TCFD 提言に基づく情報開示）
- [32](#) 水資源の保全
- [33](#) CSR 調達
- [34](#) CSR 最重要課題
- [35](#) 従業員の働き方と健康
- [36](#) 労働安全衛生
- [38](#) 環境保全
- [40](#) 化学物質管理
- [41](#) コンプライアンス
- [42](#) リスクマネジメント
- [44](#) 品質活動
- [45](#) 地域社会



Chapter 2 価値創造とマテリアリティ Value Creation and Materiality

- [17](#) 価値創造モデル
- [18](#) 価値創造の変遷
- [20](#) マテリアリティ
- [22](#) 人的資本経営の実現
- [24](#) 人的資本経営の実現：
サステナビリティ推進部による人的資本経営についての座談会
- [26](#) 事業を通じた社会課題解決
- [27](#) DXの推進
- [28](#) 脱炭素社会への貢献



Chapter 4 コーポレートデータ Corporate Data

- [47](#) 財務ハイライト
- [48](#) 非財務ハイライト
- [49](#) コーポレート・ガバナンス
- [51](#) グループ会社の概要
- [52](#) 会社情報 / 編集方針



本レポートの使い方

上部メニュー：各 Chapter のトップへ移動します



目次ページへ移動します



前の表示へ移動します



前のページへ



次のページへ

Introduction 理念体系

ともに挑み ともに繋ぐ

常にお客様目線で上質な価値を創出する

行動指針

私たちは、全ての仲間と手を取り合い、創出する喜びを分かち合います。

私たちは、失敗を恐れず、常にチャレンジャーであり続けます。

私たちは、お客様と誠実に向き合い、信頼される存在を目指します。

私たちは、こだわりと思いやりをもって、心地良さの実現を追求します。

私たちは、法とその精神を守り、安心・安全なものづくりを約束します。



当社は、社会や環境の課題解決に貢献することを使命とし、高度な化学技術を通じて暮らしの安全・安心を支え続けてきました。

このたび、改めて社会視点に立ち、自社の社会的な存在価値を探究することで、その意義を言語化した「存在意義」を策定。経営理念とともにこの「存在意義」を軸に据え、事業活動を推進し、持続可能な未来に向けた価値を創出していきます。

自分からの視点

経営理念

「私たちが大切にしている仕事に向き合う姿勢」

ともに挑み ともに繋ぐ
常にお客様目線で上質な価値を創出する

経営理念

仕事に向き合う姿勢
(内部の行動指針)

2030年のありたい姿

「私たちが将来的に目指す会社の姿」

2030年のありたい姿

目指す未来の姿

**共創 × 進化 × 化学の力で
新たな価値を提供する**

存在意義

「私たちが社会において存在する意義」

**化学の力で未来を創り、
技術と信頼で社会に貢献する**

社会へ果たす役割
(外部への約束)

存在意義

社会からの視点

Introduction 藤倉化成の概要

数字で見る藤倉化成

創業

1938年



従業員総数

連結 1,222名



総資産

連結 590億円



売上高

連結 555億円



自己資本比率

連結 69.3%



研究開発費率

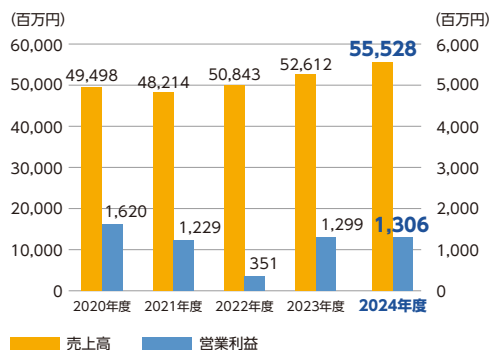
連結 5.2%



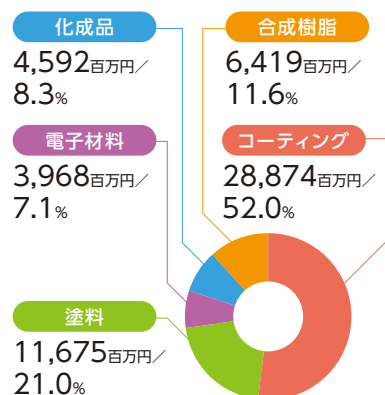
2025年3月31日現在

売上収益の構造

売上高・営業利益



セグメント別売上高・売上高構成比



事業展開

当社グループはアクリル樹脂技術を基盤に、社会の持続的成長に貢献する化学メーカーです。5つの事業を通じてプラスチック用塗料や建築用塗料、導電性樹脂、機能性樹脂、メディカル材料など、高付加価値の製品を展開しています。「塗料配合技術」「樹脂合成技術」の基盤技術、そして機動力や供給力を強みに、お客様や社会に新たな価値を提供します。

事業セグメント

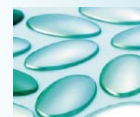
塗料事業

住宅外壁用塗料を中心に、戸建住宅の新築物件から塗り替え(リフォーム)工事まで、外壁塗料を一貫して手掛けています。



コーティング事業

プラスチック素材に対するコーティング材を主力製品とし、自動車部品や家電製品、化粧品容器、農業資材、ホビー用品など、幅広い分野へ製品を提供しています。



電子材料事業

「ドータイト®」ブランドのもと、ペーストや接着剤、シールドなどさまざまなタイプの導電性樹脂材料を電気・電子機器分野に提供しています。



2つの基幹技術

塗料配合技術

分散・混合技術により最適な配合を導き、用途に応じた作業性・機能性・デザイン性を兼ね備えた塗料を開発しています。

樹脂合成技術

構造制御による高機能化、製品形態別(溶液・水系・粉体)の造り分けにより多様な樹脂材料を開発しています。

化成品事業

樹脂材料を扱う事業で、粘着剤やプリンター用樹脂をはじめ、成形材料、電子部品材料など幅広い市場向けに製品を展開しています。



合成樹脂事業

当社子会社である藤光樹脂が担っており、合成樹脂事業の原料や加工製品の仕入れと販売を行っています。

